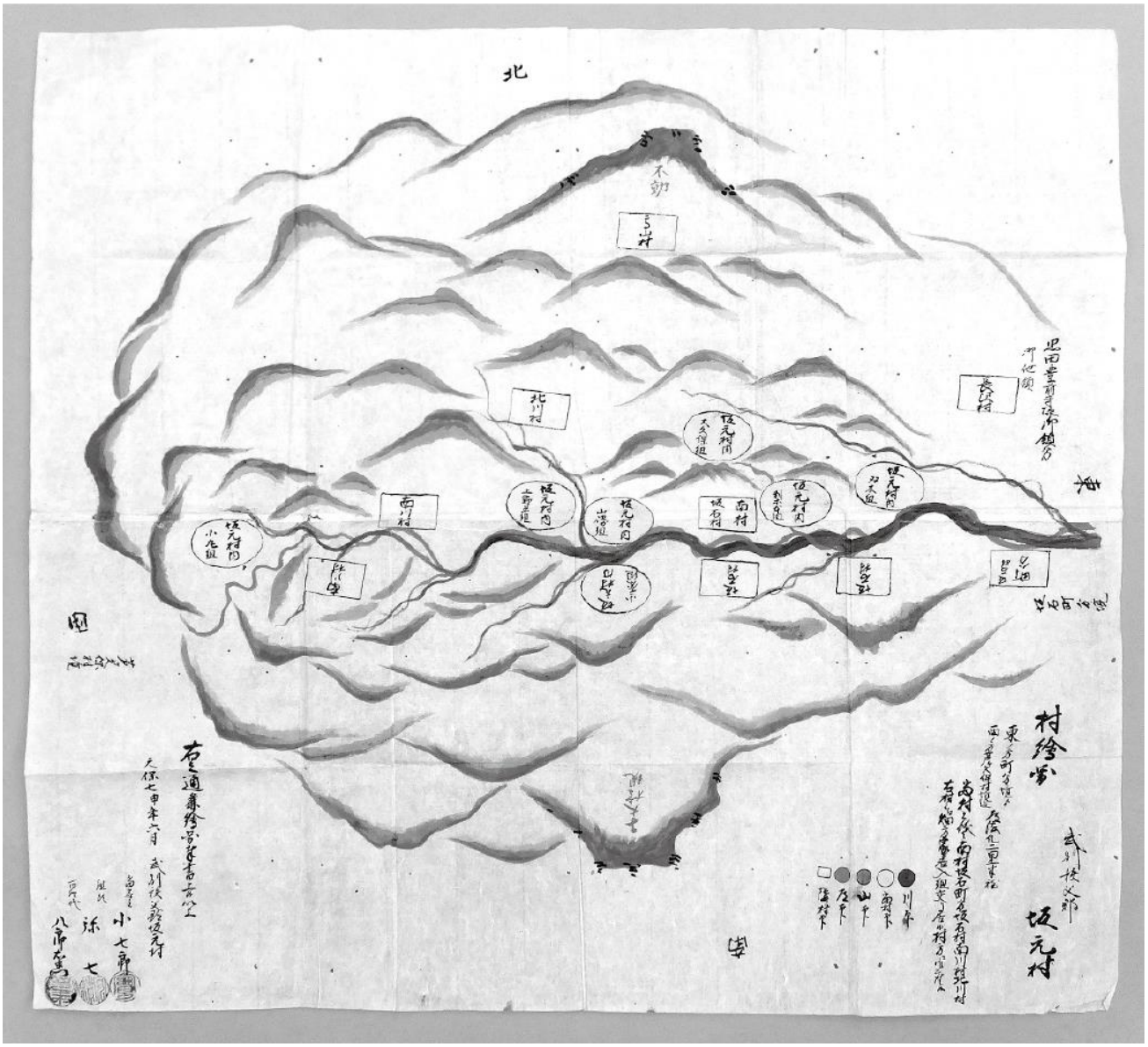
今月の一品　平成 30 年 10 月

坂元村絵図



江戸時代の村は現在のほぼ大字にあたり、村域が確定し隣村との境が明確になっているのが普通です。ところが、坂元村の場合は、この絵図にあるように、他の村の間に入り交じって（犬牙して）、双木・梨本・大久保・山崎・小床・上野平・小丸の７つの組が散在しており、それは寛文から元禄年間（1661～1704)に、上我野村から南や坂石、高山などに分かれた時の地域の状況が反映されたものと考えられます。